



敬老祝賀式

なばとく通信

Nabatoku
tsushin

☆続きは次ページへ…

「いつもと違う年末がやってくる！」

名張特別養護老人ホーム
施設長 増井 明

「なばとく通信」愛読者の皆さん、元気です

かく（アントニオ猪木さん？）

最近のニュースから、「〇〇県の新型コロナウイルス感染者が過去最高に」「十一月のこの

時期に真夏日と思える程の暑さ」「トランプ大統領にまた負けを認めず」などの話題がありました。（ちゃんと見ているね。感心感心）

でも一番気になったのは、やはり新型コロナウイルスのニュースです。県外や県内の感染者数は当然気になっていたのですが伊賀市、名張市で七人、八人と日を追うごとにその人数が増え

てくる記事を見ていると、非常に恐怖を感じました。都会と違って、人口十万人前後の伊賀市、

名張市で一日何十人の感染者が出たとなつた

さんやお年寄りさんを抱える方々の不安は口で

は言い表せないものがあると思います。医療機関や高齢者施設でクラスター（集団感染）が発生することも気がかりですが、お世話する方が

限定される核家族や老々介護、単身で生活しておられる家庭で感染者が出るともと大変だと

案じています。一刻でも早くコロナウイルス壊滅に効果のあるワクチンが開発されることを心

から願っています。

（田中さん）今年の忘年会はどうします？

（増井さん）そやなあ、今年はお店が空いててエエかも。（スタッフ）こらーつ、行くな！

お祭り

毎年3F合同での行事を計画していましたが、今年はコロナの影響で各ユニットで開催する事になりました。ご家族との面会の制限や外出もできない中、少しでも気分転換になるようにと夏祭りをユニットで計画しました。

〔かえでユニット〕

「ミニ夏祭り」を開催しました。宝釣りでは、紐の先に景品が付いていて、何が付いているかは引いてみてのお楽しみ？

皆様、ドキドキしながら引いていらっしゃいました。
(笑顔あふれる縁日でした)



〔みのりユニット〕

射的や輪投げを、童心に返り楽しまれ最後には手作りサングラスで目隠しをして「右～左～もっと前～」と大きな声援の中、スイカ割りで盛り上がり夏の楽しい思い出となりました。



山本浩子介護主任が 「瑞宝单光章」の叙勲を受章



主任は下の息子さんが2歳の時、名張特養に入職。初めての介護の仕事に「1週間で辞めたると思っててんけどな～」との事。以来、名張特養一筋今年で23年！！現在は、主任として職員の育成やユニットケアの実践指導を行うと共に、いぶきユニットリーダーとして日々従事され、名張特養の「顔」として、また介護職員の「鑑(かがみ)」として私たちを引っ張ってくれています。温厚で笑顔が素敵な主任さん。介護技術はもちろんの事、整理整頓や美しい文字、きっちりとした性格は「素敵な人」そのもの。職員の相談事などいつも親身に聞いてくれ、時に厳しく、時に力強く職員を鼓舞してくれます。



写真右：山本主任

運動会

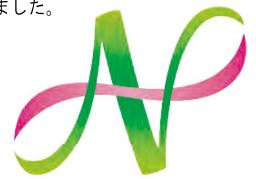
11月末は1階いぶきユニット・うららユニット合同で運動会を開催しました。玉入れやパン食い競争に借り物競争で盛り上がり職員によるぐるぐるバッドや飴食い競争では皆さん大笑い！！

楽しい一時を過ごしました！



ロゴマーク

名張厚生協会のシンボルマークが決定しました。



Nabari Koseikyokai





敬

老

祝

賀

式

